

2 - 2 - 5 岐阜市指定重要文化財 絹本著色土岐重頼像

土岐重頼（生年不明～1497年）は、此の絵画を所有する瑞龍寺を創建した人物である。土岐成頼は、室町時代の美濃国守護として、美濃地方の政治・経済・宗教に影響を与えた。画面に描かれた土岐成頼像は、僧形の人物ですが、部将らしい風貌がよく表れている。また、椅子の文様も丁寧に描かれている。さらに、画面の上部には、賛（人物を賞する漢詩文）が記されている。

平成12年3月24日指定

岐阜市指定重要文化財

絹本著色悟溪宗頓像

悟溪宗頓（1416年生～1500年没）は、この絵画を所有する瑞龍寺を開いた人物である。寺の創建者の土岐成頼・斎藤妙椿に招かれ、美濃地方の文化に大きな功績を残した。画面に描かれた悟溪宗頓は、顔の表情に個性がよく表れ、袈裟の文様も丁寧に描かれており、作者の力量が伺われる。画面の上部には、悟溪自身による賛（自賛）が記されている。

平成12年3月24日指定

平成14年3月

岐阜市教育委員会

説明板より